

飛騨炭マットビニールと土壌ビニールの説明

ビニールシート処理した床下施設に木炭マットを敷き詰めた床下とビニールを敷き詰めただけの床下で比較した。

平成17年9月22日～10月12日の20日測定した。

茶色の点線が90%以上の時は雨の日である。グラフから見ると平均湿度値、最低湿度値は余り差が無いが最高湿度値で6.7%差が出ている。これは通常土壌から湿気はビニールで防いでいるので余り差が出ていないが、雨が降り外気湿度が90%に高くなると木炭マットは空気中の湿気を吸湿し、床下の湿度を抑えている事がわかる。また気温が上がり湿度が低い時には、ビニールの床下より木炭マットの床下の湿度が上がっている。これは床下が乾燥すると木炭マットが湿度を放湿するのでビニールの床下より湿度が高くなると思われる。